

[No. 7] 図1に示す駆動電圧特性をもつ図2のフューエル・ポンプ用DCブラシ・モータ・スイッチング・リレーの回路の点検に関する記述として、不適切なものは次のうちどれか。

図1 駆動電圧特性

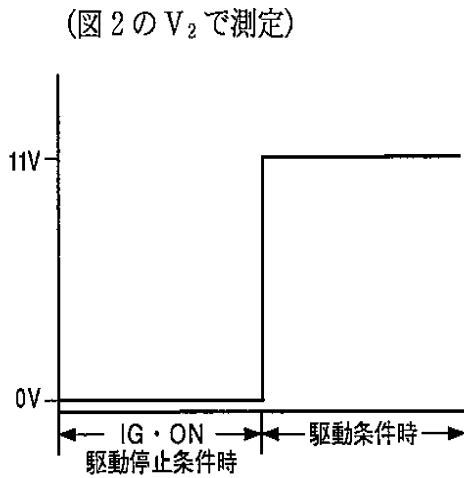
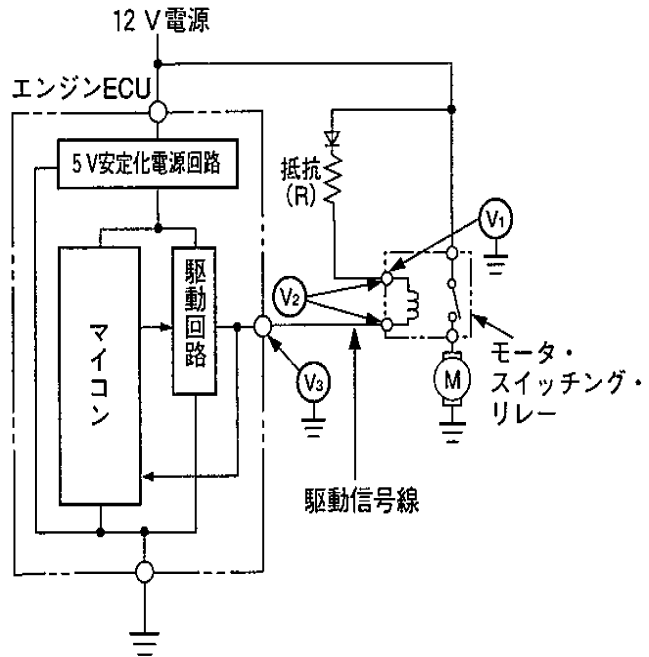


図2



- (1) IG・ONの駆動停止条件時のV<sub>3</sub>が0Vの場合、V<sub>3</sub>測定部から上流側の回路に異常(断線、短絡(地絡))がないときは、ECU本体の異常が考えられる。
- (2) 駆動条件時のV<sub>2</sub>が約11Vの場合、駆動信号線に断線は発生していない。
- (3) 駆動条件時のV<sub>2</sub>が約12Vの場合、抵抗(R)の両端間の短絡が推定原因の一つとして考えられるが、リレー・コイルの断線は考えられない。
- (4) 駆動条件時のV<sub>1</sub>が0Vの場合、電源線(抵抗(R)を含む)の断線が考えられるが、リレー・コイルの断線は考えられない。

答(3)

- (1) 駆動停止条件時はV<sub>3</sub>が12Vになる。V<sub>3</sub>から上流側に異常がないことを考えるとECU本体の異常が考えられる。
- (2) 駆動信号線に断線があればV<sub>2</sub>は12Vとなるので、断線は発生していない。
- (3) リレー・コイルが断線している場合もV<sub>2</sub>が12Vになるので、不適切である。
- (4) 駆動条件時のV<sub>1</sub>が0Vの場合はV<sub>1</sub>より上流側に断線が考えられるため、リレー・コイルの断線は考えられない。